



第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岩政 孝 / 副会長：岡田 文俊 / 幹事：川島 千鶴

■2017～2018年度クラブテーマ■

「温故知新」佐世保中央ロータリークラブです！



週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：本田 実、大久保 厚司、宮崎 祐輔、有吉 中、片桐 康利、馬渡 圭一

本日の出席率 83.72%：会員数 47名・出席 31名・欠席 7名・出席規定免除会員(9) 5名・ビジター 1名
 前々回の修正出席率 86.36%：出席 31名・メークアップ 1名・出席規定免除会員出席 6名



会長挨拶 / 岩政 孝君



先週の3クラブ合同例会には、沢山の参加を頂きまして有難うございました。当日の挨拶でも申し上げましたが、他のクラブがどのような活動運営をされているのか式典の中や懇親会での懇談の場で勉強させて頂いた事は、この合同例会の目的の一つとして有意義な時間だったと考えます。当クラブのロータリー旗が簡単な工夫で美しく見える事を、他クラブの幹事さんは自クラブにも取り入れようと言ってくださいました。北クラブさんがMY ROTARY 登録100%達成の表彰をされたことに対して、素晴らしい成果を認められた事に対する驚きと共に、当クラブも100%を目指し意識を変えなければと反省を致しました。

これからも色々な体験をする中で、常に情報を吸収する習慣を忘れてはならないと思います。あと半年、年間活動計画はほぼ終了次年度が動かれる中で、来年の活動がより良くなるように今まさに、本年の活動の反省点などを明確に伝える事が大切だと感じています。

*佐世保東南ロータリークラブ

日時 3月28日（水）18:00～

場所 焼肉のあいかわ 観桜会例会の為

2. 来信

■ガバナー事務所

- ・My ROTARY アカウント登録マニュアルについて
- ・台湾東部地震義援金募集について

■米山記念奨学会

- ・ハイライトよねやま 216号 発行のお知らせ
 - ・次年度地区米山記念奨学会委員オリエンテーションのご案内
- 日時、場所：4月1日（日）東彼杵町総合会館
 対象：次年度地区委員 本田実君

3. 依頼・伝達

- ・本日、新入会員卓話になっており、宮崎宗長会員と倉科総一郎会員です。お二人のお話し楽しみに。
- ・また本日例会前に20人が海上保安庁の体験航海に参加して下さいました。貴重な体験でした。
 ありがとうございました。



本日のビジター紹介

佐世保北ロータリークラブ
 緒方 信行様



今月のお誕生会員

昭和25年3月 7日 橋口 佳周君
 昭和16年3月 21日 福田 英彦君
 昭和37年3月 22日 八重野一洋君
 昭和27年3月 26日 井上 亮君

Report 幹事報告 / 川島 千鶴君

1. 例会変更・休会

*佐世保東ロータリークラブ

日時 4月7日（土）18:30～

場所 ホテルオークラ JR ハウステンボス

観桜家族例会の為





結婚記念日

3月 3日	溝上 純一郎・京子	ご夫妻
3月 23日	宮崎 正典・美佐子	ご夫妻
3月 30日	崎元 英伸・ジン	ご夫妻
3月 30日	四元 清安・千晴	ご夫妻

賃のマンションで4年間もしくはそれ以上過ごされるみたいです。おめでとうございます。

田中 啓輔君

先週、長男の大学受験の合格発表がありました。競争率11.7倍の東京農大と、競争率2.7倍の佐賀大学農学部を受験し、両方とも合格しました。長男は佐賀で祖父と農業をしたいと佐賀大学を選びました。ちょっともったいない気がしますが、本人が決めた事なので親として応援していこうと思います。

宮崎 正典君

結婚祝い、ありがとうございます。

6月の国際奉仕委員会、海外RC訪問はスリランカRCを訪問します。皆様の参加をお待ちしています。

倉科 聰一郎君

本日は卓話をさせていただきます。つたない話となりますが、よろしくお願ひいたします。

本日の合計	25,000 円
本年度の累計	868,018 円



本日の卓話

■新人卓話■

倉科 聰一郎 君



福田 英彦君

3月は誕生月です。3月21日に77歳になります。私より1年早く会長になったのが松尾 英機さんですので、私は二番目のoldということで通したいと思います。私が16年3月、松尾さんが16年12月ですが・・・

西村 浩輝君

淡淡とロータリーライフも尺八も楽しんでいます。「奥伝」の免状をいただきましたので、ニコニコします。ありがとうございます。

溝上 純一郎君

結婚祝いのお花ありがとうございます。

崎元 英伸君

35回目の結婚記念日です。ありがとうございます。

四元 清安君

結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。

八重野 一洋君

お祝い、ありがとうございます。

先週の合同例会、お疲れ様でした。川島 千鶴幹事、会社の前をバスで素通りありがとうございます。

平岩 義明君 馬場 貴博君 馬場 貴博君 川島 千鶴君

岡 光正君 井手 陽一君 吉野 英樹君

田中 啓輔会員の御子息、僚太郎の大学合格を祝してニコニコします。悪ガキの頃と比べてとても真面目でしっかりした青年に育っているらしいと聞き頼もしい限りです。本当にお父さんに似なくて良かったですね。プール付きの8万円の家

1月に佐世保中央ロータリークラブに入会させていただきました倉科です。本日はこのような機会をいただき誠にありがとうございます。まずは、入会のお誘いをいただいた牛島 義亮社長ありがとうございました。入会して2か月経ち、素敵なお出会いに恵まれたと思っています。

私は、昭和52年5月29日生まれで、波佐見町で、司法書士事務所を営んでいます。不動産の登記、法人の登記、企業法務、成年後見業務、裁判所提出書類作成などいただいたご依頼はなるべく対応したいと思っております。司法書士としての歴史は、東京都内の司法書士事務所に3年ほど勤務し、波佐見町で平成22年に独立開業しました。

法政大学法学部法律学科を卒業したのですが、就職活動して就職するということに抵抗を感じて、そのまま卒業を迎てしまい、アルバイトをしながら日々くらしておりましたが、これでは将来がないと思い立ち、司法書士試験を受験して、4年ほどかかりましたが29歳の時に合格し今に至ります。家族構成は妻、長女、義母の4人暮らして妻の実家に住まわせてもらっていますの

で、お義母さんのご機嫌を損ねないようにお義母さんに快適に暮らしてもらえるように気を付けています。

私はもともと神奈川県横浜市の出身で、7年前に独立開業の場所を波佐見町に選ばせていただきました。東京で働くことはやりがいもあり、楽しくもありましたが、常に満員の地下鉄、電車、バスに乗ることが好きではなかったということもあり、田舎といつたら長崎の方々には失礼かとは思いますが、田舎に住んで今までとは違う人生を生きてみたいと思ったからです。母親が長崎市の香焼町という三菱造船所がある町の出身なので、なじみがあつたというのも大きな要因です。零細の個人事業ではありますが、事務所経営者としての課題は、資金繰りなどどんぶり勘定となり、逆算的な経営ができていないことと事業が重なることで、対応が遅れてしまうことです。目標として法人化をして組織的な経営を将来はしていきたいと思っています。

私は1ターンの移住者ということで、東京都と長崎の違いをすごく感じるのですが、住みやすいのは断然長崎だと思っています。司法書士はやはり覚えてもらわないと依頼に繋がらないと思いますが、移住してきましたと自己紹介すると大抵は興味を持つてもらえますし、よく来たねと肯定的な感情を持ってもらいやくもあります。東京はビジネスライクなところが多く、冷たい人も多かったのに比べて長崎は優しい方が多いです。厳しいお客様も東京ではたくさんいらっしゃったのですが、長崎はおおらかなお客様が多いと感じます。なんといっても仕事も少ないのでライバルも少ないので営業などをしやすい面もあります。それでもなんといってもやはり最大の魅力は人であろうと思います。今後とも素晴らしい人々と出会いに期待が持てると考えております。今後ともよろしくお願ひします。

■新人卓話■

宮崎 宗長君



皆さま、こんにちは。佐世保塩浜郵便局で局長をしています「宮崎 宗長」と申します。昨年の「映画例会」の時にクラブに入会させていただき、早4か月がたちました。たくさんの方とお知り合いとなり、またお声をかけていただけるようになり大変感謝いたしております。これからもよろしくお願ひいたします。

本日は、新人会員の卓話という時間をいただきましたので、私が所属しています「郵便局」「日本郵便株式会社」のお話をさせていただければと思っております。皆さんも郵便局には一度は足を運ばれたことはあられる存じますが、業務内容を詳しくはお分かりになられていないところもあるんじゃないかなと思っています。そこで本日のお話しで少しでも郵便局のことを理解していただくと幸いに思います。よろしくお願ひいたします。

日本郵政グループの発足は2007年10月1日、郵政民営化法により日本郵政公社が民営・分社化し、現在に至っております。日本郵政グループは、現在日本郵政、日本郵便、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の4社で構成されています。従業員数は4社合計で

約21万人。これに非常勤の社員を加えると、約40万人超の社員がいるグループです。

創業は東京一大阪間の郵便事業が開始された1871年、なんと146年前のことです。郵便配達網の広がりとともに、貯金事業・簡易保険事業をスタートさせてきました。以降、様々な組織改編を経て、2007年10月1日に国の組織から民間企業となり、2015年11月4日には、日本郵政、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の3社が東証一部に同時上場し、新しい歴史を刻み始めました。

ではグループの中で、日本郵便がどのような役割を担っているのかをお話しします。

日本郵政グループ各社は、それぞれ、郵便、銀行、保険と異なる業界の事業を行っていますが、お客さまには「郵便局」という共通のチャネルを通じてサービスを提供しております。この郵便局を所有及び運営しているのが「日本郵便」であり、いわば日本郵政グループの顔として、お客さまに最も身近なところで事業を行っています。郵便局の数は、全国で24,421局あります。社員数は、約19万人。アルバイトの社員も含めると約40万人という日本最大級の社員数を誇る会社です。数字で比較すると、全国にある小学校の数が、約20,000校（20,095校：2017年現在）ですので、それよりも多い局数になります。小学校には歩いて通学されていた方が多かったと思いますが、郵便局も実は歩いていける距離にあるんです。また、日本郵便で取り扱う郵便物や荷物は、合計で年間約220億通。1日あたりの調査結果ですが、1日約6,100万通を約3,100万箇所にお届けしている会社です。日本郵便では、これらの全国に広がる郵便局ネットワークと配達網を活かして、お客さまニーズに応える様々な取組みを行っております。

日本郵便株式会社の基幹となるのは二つの事業です。一つが「窓口事業」、もう一つが「郵便・物流事業」です。「窓口事業」とは、「全国2万4千の郵便局ネットワークを通じて、郵便・貯金・保険等の商品・サービスをお客さまに提供することを基幹とする事業」です。こちらは、みなさんに一度は利用いただいたことがあるであろう、郵便局の窓口のカウンターで商品・サービスを提供する仕事といえば、みなさんイメージしやすいのではないかでしょうか。

次に、「郵便・物流事業」とは、「手紙などの郵便物等を、全国の集配ネットワークを通じて、お客さまにお届けすることを基幹とする事業」です。みなさんがイメージしやすいのは、「赤いバイクに乗った配達員」ではないでしょうか。

ではまず「窓口事業」について、少し詳しくお話しすれば、自社サービスである郵便物や荷物の引受け、切手・はがき等の販売だけでなく、グループ企業の「ゆうちょ銀行」と「かんぽ生命」から販売委託を受けており、両社の商品・サービスをご提供する金融代理店の機能も果たしています。つまり、郵便局に行けば、郵便物を差し出したり、切手を買ったりするだけでなく、グループ各社のサービス提供を受けることができるのです。例えば『フレーム切手』という商品がありますが、当局でも数種類の切手を作成しました。特に昨年作成しました、護衛艦「くらま」の切手は大変好評でした。台紙付の切手で、その台紙には「くらま」のマークと自衛隊旗が桜吹雪で描かれているさまをあしらい作成しました。そのほかにも結婚式の写真などご自分の好きな写真等を切手にできる商品です。また日本郵便では、このような商品・サービスの提供だけではなく、地域・社会への貢献活

memo

動も行っています。例えば、「郵便局のみまもりサービス」郵便局社員が高齢者宅を訪問し、生活状況を確認するサービスを2017年10月から全国で実施しています。

続いて、もう一つの基幹ビジネスとなっているのが、「郵便・物流事業」です。まずは、皆さんが出された郵便物や荷物が、どのように相手に届くかご存知ですか？

①差出 皆さんが出された郵便物をポストに差し出す

②取集 ポストから回収し、近くの郵便局に集める

③輸送 その郵便局から、更に大きな郵便局に郵便物等を集め、そこから配達先近くの大きな郵便局にトラックや飛行機、鉄道等を利用して運び、その大きな郵便局から、配達先近くの郵便局に輸送する

④配達 その近くの郵便局から、皆さんのお自宅に配達する
1枚のはがきや荷物をお客さまにお届けするまでに、たくさんの社員が関わっています。お届けするものは手紙であったり荷物であったり違いはありますが、郵便・物流事業のビジネスの基本の流れです。

いろいろとお話ししてきましたが、当社の事業は皆さまの生活に身近なところでサービスを提供しています。

日本郵便の店舗である郵便局、そしてそれらをつなぐ配達網を活用し、お客様の生活を生涯にわたって支援する「トータル生活サポート企業」を目指しています。



SAA：宮崎宗長君
次回例会／3月22日12：30～